

政策評価調書(元年度実績)

政策名	挑戦と努力が報われる農林水産業の実現	政策コード	Ⅱ-1	関係部局名	農林水産部
-----	--------------------	-------	-----	-------	-------

【Ⅰ. 政策の概要】

魅力ある、もうかる農林水産業の確立に向け、経営力のある担い手の確保・育成から生産基盤の整備、マーケットインの商品づくり、国内外の流通対策までを全体として見通した上で、①水田の畑地化による高収益な園芸品目等への生産転換、②全国トップレベルの肉用牛産地づくり、③循環型林業の確立による林業・木材産業の成長産業化、④水産業の資源管理の強化と成長産業化、⑤スマート農林水産業の実現を重点に構造改革をさらに加速させる。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

施策名		指標評価	総合評価
1	構造改革の更なる加速	概ね達成	B
2	マーケットインの商品(もの)づくりの加速	概ね達成	B
3	産地を牽引する担い手の確保・育成	達成	A
4	元気で豊かな農山漁村づくり	達成	A

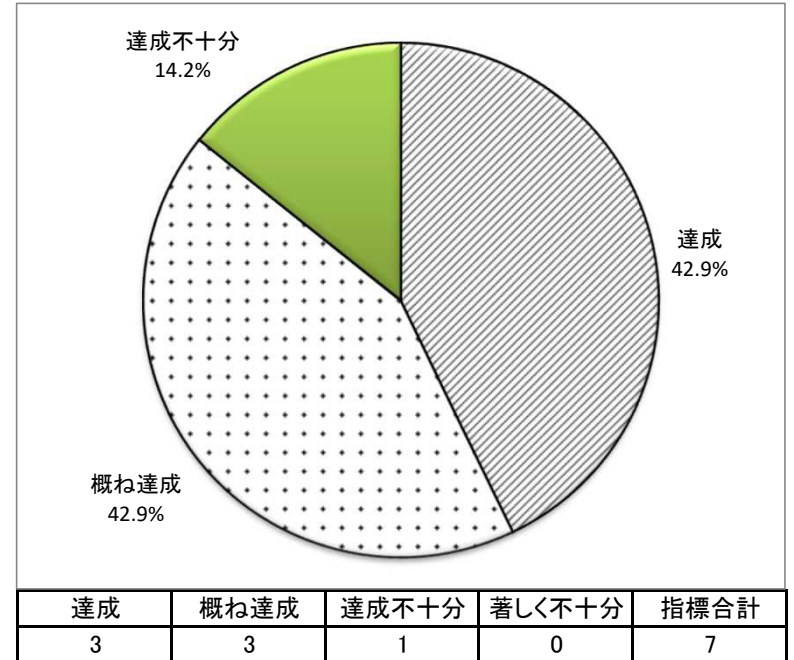
【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

本県では、農林水産業の構造改革を進め、これまで、県オリジナルいちご「ベリーツ」や「おおいた和牛」、「うまみだけ」、「かぼすぶり」などのブランド産品を生み出してきた。また、就農学校などの研修制度の拡充等により、新規就業者や参入企業が増加・拡大し、本県農林水産業を担う経営体の確保・育成を進めてきた。

一方、高齢化や人口減少が急速に進行しており、農林水産業や農山漁村ではその状況が顕著になっている。また、TPP11や日EU・EPA、日米貿易協定など、自由貿易の拡大に向けた協定の相次ぐ発効により、農林水産業はグローバル化の局面に足を踏み入れている。加えて、生産・流通の現場における労働力不足の顕在化、食生活・ライフスタイルの変化などによる消費者ニーズの多様化、さらには頻発する大規模な自然災害への対応など、喫緊の課題も山積している。

大分県版地方創生に欠かせない重要な産業である農林水産業を、魅力ある、もうかる産業へと成長させていくため、経営力のある担い手の確保・育成から生産基盤の強化、マーケットインの商品づくり、国内外の流通対策までを全体として見通した構造改革をさらに加速していく。

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—